

色が与える好感度

杉原 由桂 藤原 宏美 中村 彩香 葛西 加奈

要旨

色と印象について、本校生徒を対象に質問紙調査を行った。好感度について、被写体の性別では差異が見られなかったが、年齢別では「子ども」で「黄」の好感度が高くなった。また、明るい色の写真は「元気」、また、暗い色は「さわやか」との印象を受ける傾向があることが明らかになった。

キーワード：色，印象，好感度

1 序論

テレビや雑誌などでよく色と印象には密接な関わりがあるということを聞く。背景の色によってその人の印象や好感度が変わると予測し、生徒80名に質問紙調査を行い、赤・青・黄の3色の与える効果について違いを明らかにした。

2 仮説の設定と検証

(1) 仮説の設定

次の仮説を設定し、アンケート結果を分析する。

【仮説】 印象度は被写体の性別・年齢の影響を受ける。

(2) 方法

男女2名ずつの、赤、黄、青の写真を対象としそれをまぎらわすための写真を4枚ランダムに混ぜ、2年2組、2年R組の生徒72名に質問紙調査を行った。その後、それぞれの写真の好感度（1～5）の点数と印象を短い言葉で任意で記述してもらった。

(3) 結果

①印象度

質問紙の印象度の点数より図1を得た。また、被写体を性別・年齢別に分類して図2を得た。

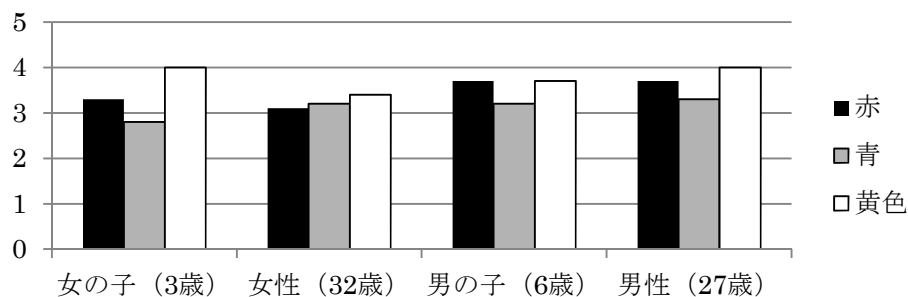


図1 写真別による5段階評価の平均

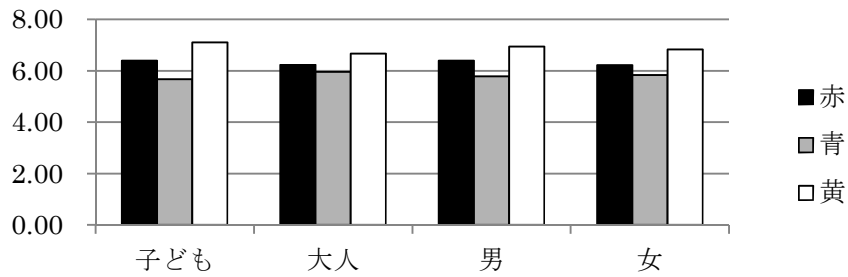


図2 年齢および性別による違い

②自由記述

質問紙調査の結果、それぞれの印象について表2のような記述を得た。ただし類似した記述語はできるだけまとめて表した。

表1 アンケート調査生徒から得られた記述語・平均点数

記号	記述語
男の子 黄	楽しそう (10), 元気 (10), 嬉しそう (4), その他 (15),
男の子 赤	怖い (3), 元気 (15), 情熱的 (5), その他 (15)
男の子 青	暗い (9), 楽しそう (2), 嬉しそう (6), さわやか (4), その他 (13)
女の子 青	楽しそう (12), 暗い (6), 不思議そう (2), その他 (15)
女性 黄	明るい (7), さわやか (3), 上品 (5), その他 (18)
男性 赤	怖い (7), 強そう (2), さわやか (2), 不思議 (3), その他 (17)
女性 青	冷静 (6), 知能的 (5), 暗い (4), その他 (15)
女の子 黄	明るい (8), 元気 (8), 嬉しそう (7), その他 (8)
男性 青	さわやか (15), 暗い (5), 怖い (3), その他 (8)
女性 赤	元気 (8), さわやか (5), 嬉しそう (3), 派手 (3), その他 (11)
男性 黄	さわやか (5), 元気 (5), 不思議 (4), その他 (16)
女の子 赤	元気 (7), 楽しそう (6), 怖い (1), その他 (9)

3 結論

(1) 好感度の分析より

好感度の分析より、被写体の性による大きな違いは見られない。一方、被写体の年齢間による違いについては、子どもの黄色の好感度が明らかに高く、被写体の年齢間で差があることが明らかになった。

(2) 自由記述の分析より

自由記述の分析より、明るい色に対して聴衆が受ける印象としては「元気」、また、暗い印象に対しては「さわやか」という傾向があることが明らかになった。これによって、色は見る人にどのような印象を与えるかの要素の一つとして考えられる。

*謝辞

本研究に当たって、アドバイザーとして熱心にご指導いただいた岡山県立倉敷天城高等学校の益田史郎先生に感謝いたします。

【参考文献】 「配色イメージ見本帳」